



サプライヤーの行動基準

コンテンツ

序	3
要求と義務	
I. 利益の相反	5
II. 贈物・食事・接待	6
III. 賄賂とリベート	7
IV. 帳簿及び記録	8
V. 会社資産の使用	9
VI. 技術資産の使用	9
VII. 情報の保全・正当使用。	11
VIII. インサイダー取引	12
IX. 知的財産権	12
X. 不正行為の報告	13
XI. 法の遵守	13
XII. 貿易コンプライアンス	14
XIII. 衝突鉱物	15
XIV. 健康と安全	16
XV. 労働権と人権	17
XVI. 差別と騷擾	18
XVII. 環境	19
XVIII. サプライヤーの評価と監督	19

序

テナリス及びその子会社（「テナリス」という）は、法令を遵守し論理的行動に基づく誠実で透明性のある企業文化を構築することに注力しています。テナリスの行動基準（詳細は <http://www.tenaris.com/en/AboutUs/CodeofConduct.aspx>参照）はこのような企業文化を反映し、そしてテナリスの各階層の従業員を激励・指導しています。

テナリスの認識では、高水準の誠実と透明度を実現するために、従業員、役員及び主管に向けて通用規範を制定するだけでなく、営業活動でテナリスと取引関係にある第三者に規範を設定しなければなりません。テナリスのサプライヤーが上記の通用規範を遵守することが、テナリスの「行為道徳、透明かつ正当」の目標と期待の実現に必要な不可欠なので、テナリスは特に「行為基準」を発表しました。サプライヤー及びそれぞれの従業員、役員、主管または授權代表者は、例外なくテナリスとのすべての取引で本「行為基準」に従って頂きます。

サプライヤーの選別、保留及び評価を行う際に、職責を果たしてずっと「サプライヤー行動基準」を守っているか考慮します。サプライヤーが下請業者を採用してテナリスと取引を行う場合、サプライ

ヤーと下請業者の関係についても、「サプライヤー行動基準」に規定されたルールに適用します。

いかなる状況でも、「サプライヤー行動基準」の規定に違反・背く可能性のある命令、要求または指示に依拠してはならないです。

「サプライヤー行動基準」については、「サプライヤー」とは、テナリス及びその子会社に労働または商品を提供する個人または実体を含み、また、テナリス及びその子会社を代表するかどうかに関わらず、いかなるティアのディーラーまたはプロバイダー、及び一切の代理人、営業取引仲介者、コンサルタント、ディストリビューター、ビジネスパートナーまたは他業者を含んでいますが、これに限定されるものではありません。

要求と義務

I. 利益の相反

サプライヤーは、テナリスの従業員と取引を行う間に、テナリスの最大利益に相反または疑似相反を発生する可能性を避けるべきです。

例えば、サプライヤーとテナリスの取引において、サプライヤーは雇用または他の方式でテナリスのいかなる従業員に報酬を払うことができません。例、サプライヤーの従業員とテナリスの従業員に親族関係（配偶者、両親、同胞、祖父母、子、孫子、岳父母など）がある場合、またはサプライヤーの従業員とテナリスの従業員に潜在的な利害衝突を含む他の関係がある場合、サプライヤーは、この実況をテナリスに開示しなければなりません。

テナリスの従業員の利益相反にかかわる場合、書面による形式で完全に開示しなければならないです。サプライヤーはテナリスの該当する契約部門に連絡し、すべての利益相反を開示します。

II. 贈物・食事・接待

テナリスの従業員によるサプライヤーの意思決定に影響または疑似影響を与える可能性のある場合、サプライヤーはテナリスの従業員にいかなる贈物¹、旅行、食事または接待を提供することはできません。心ばかりの接待については、いかなる法律規定に違反しない場合に限り、サプライヤーはテナリスの従業員に適切な贈物、食事または接待を提供することができますが、且つ、

- 現金または現金等価物ではないこと。
- 商業慣行とサプライヤー企業政策に適合すること。
- 頻繁せず、または換金性の高い商品ではないこと。

¹「贈物」とは、すべての有価物を指しますが、いかなる利益、便宜（例えば、車や施設の使用許可）、現金または現金等価物、旅行、宿泊、食事、娯楽、リベート、借金、仕返し、安価による施設やサービスの提供・使用またはサービス利用、および他の形式の利益（会社の資金または資産、あるいは個人または第三者の資金または資産に属したり由来するかどうかと問わず）を含んでいますが、これに限定されるものではありません。

III. 賄賂とリベート

テナリスの業務を取得・保留するために、サプライヤーはいかなる形の商業賄賂、リベート案に参加し、または他の方式でテナリスの従業員及びその家族・友達に激励を提供することを禁じます。

サプライヤーは契約書の規定、実行または授与された国の適用するすべての反賄賂法規及び政府の役職員の賄賂に関連する地方法規²に従って行われるものでなければなりません。

いかなるテナリスと関係のある製造、販売また商品役務の提供、またはテナリスとの他取引活動について、サプライヤーは不正利益または得利（例えば、規制の許可、税関、または司法と立法手続きに

²「役職員」とは、(A) 選挙・委任を経て立法・行政または司法職を担当している者、いかなる国、政府、国際公共機関（例えば世界銀行あるいは国連）を代表・代行している者、部、司、先、局または特殊な政府部門の実質部下機構（関連政府部門の利益のために持っている、制御・経営している法人団体やその他の実体を含む）の役人または従業員及び他の者を含みます。または (B) いずれかの政党、党内の職員や公衆職候補。国や政府に「制御」されている法人団体または類似の実体には、の法律の形式にかかわらず国や政府が直接または間接的に主導的な影響力を与えるすべての実体が含まれています。その他の場合を除き、国または政府が実体を持つ大部分の発行済みの資本、本体の発行済み証券関連議決権を保有する多数票決定権、実体行政や管理組織や監事会メンバーに委任する権力のある大半のメンバーです。「役職員」には、役職員の子、配偶者、親あるいは同胞も含まれています。

かかわる)を取得するには、政府の役職員、国営事業体の役職員または政府職員に対して、直接、間接を問わず、有価物を提供することは禁じられています。また、いかなる個人に対しても有価物³を提供することはできません。

テナリスを代表する支払い、またはテナリスの資金による支払い(贈物、食事、接待またはその他有価物を含む)について、サプライヤーはすべての当期正確な書面帳簿を残さなければなりません。また、テナリスの要求に応じてこの記録を提出するものとします。

IV.帳簿及び記録

正確で信頼できる情報と記録は、テナリスの財務、法律や管理面の職責履行に対して非常に重要で、且つテナリスの取引状況の公平な反応にも必要不可欠です。サプライヤーは、テナリスと展開した業務活動に関するすべての事項を正確に記録しなければならないです。これは、すべての支出とお金の適切、タイムリーで完全な記録、および関連する証拠と書類の提供が含まれています。サプライヤーは、遅延、延期またはその他の方式で、テナリスの会計証拠の適切で直ちに処理することを妨害してはなりません。任意の記帳透明性と正確性に影響を与える方式による証拠の変更・改ざんは、深刻な不正行為とみなします。

³「個人」とは、(A)テナリスが意図的に、または業務展開中のある国の法令によって成立または存続した法人団体、パートナーシップ企業、協会またはその他の法律本体(営利かどうかにも関わらず)雇用又は授權代理人の自然人(その公民身分と国籍にも関わらず)。及び(B)この人の子、配偶者、親や同胞を指します。

V.会社資産の使用

役務または商品の提供及び他の形式で職務を履行する時に、サプライヤーはテナリスの設備、システム、技術機器を授権者より特定の目的に利用する責任を負います。

サプライヤーは、テナリスの所有物及びその他の有形・無形資産を保護・使用する責任があります。テナリスの明確な書面による許可がない限り、サプライヤーはテナリスのいかなる商標あるいはその他の知的所有権を使用してはなりません。

VI.技術資産の使用

役務または商品の提供及び他の形式で職務を履行する時に、サプライヤーはテナリスで許可された目的以外で、または関連協議の履行に直接関係のない目的で、テナリスの設備、システム、技術機器を使用してはなりません。

テナリスの技術システム運営に携わるサプライヤーは、ユーザーの使用制限を認知し、ライセンス契約違反などの会社の信用を損失させたり、第三者や政府当局に対する責任をテナリスに負わせる行為をしてはなりません。

テナリスの技術資産は、法律、定められた運営規則と手続きに従って扱われなければなりません。

テナリスはいつでも予告なしに、それらの情報技術資源の利用を監視し、会社の情報技術資源の利用により作成されたファイル、書類、記録、データベース、電子メール、インターネット活動及びテナリスの情報技術資源の利用によって発生したその他の情報を入力、検閲、コピー、検索する権利があります。従って、テナリスの情報技術資源のユーザーは、その情報技術資源を使って作成され、送信され、保管された情報または通信に対するプライバシー保護を求めることができません。

会社内に保管された情報やデータと情報技術資源はテナリスの所有物です。従って、会社が必要または望ましいと判断した場合、それらの情報等を規制当局または第三者へ提供することができます。

VII.情報の保全・正当使用。

サプライヤーは、テナリスに向けて作業の履行、役務または商品を行う上で知られたすべての情報が適切に秘密保持されていることを確保しなければなりません。この情報が明確に分類されず、またはテナリスと明確な関係がなくても、情報の誤用、詐欺及び不当開示から守るために、必要な措置を講じる責任を負います。

いずれかの場合でも、サプライヤーは適用法令によってその受領、または接触の権限ある情報を関連する情報開示、受領または接触の既定目的に利用し、適用法規を守らなければなりません（反独占、消費者権益保護、データのプライバシーなどの規定を含んでいますが、これに限定されるものではありません）。一切情報の誤用、認可無しでの不法や不当使用などの行為又は他の方式がテナリスに有利でも、テナリスには禁じられています。

サプライヤーはあらゆる措置を講じて、テナリス及びその従業員、取引先、ビジネスまたは公衆に影響を与える可能性のある敏感や秘密情報を適切に処理、議論、移転しなければなりません。サプライヤーは、テナリスの情報を損害及び紛失から守るために必要な手段を取り、それらを安全に保管することに直接的な責任を負います。財務情報の開示は株主と潜在的投資家の行為に影響を与える可能性があり、そして証券法律に違反する恐れもあります。たとえテナリスとのプロジェクトまたは契約が終了しても、サプライヤーのテナリスに対する秘密情報保持の責任は存続します。

VIII.インサイダー取引

サプライヤーは、テナリスまたはその業務に関する重要な未公開情報を所持している場合、テナリスまたは取引先の有価証券を売買あるいは取引してはなりません。また、この情報を利用して他の行動をとることはできません。

IX.知的財産権

サプライヤーはテナリスに属する知的財産権を保護、保持、尊重するものとします。知的財産の所有権には、サプライヤーとテナリスの業務展開中で接触する可能性のある計画、システム、手順書、方法論、経過、報告書、予測、図面が含まれますが、その限りではありません。

X.不正行為の報告

テナリスの従業員、代理人、あるいはサプライヤーの従業員、業務代表あるいはいかなるテナリスの労務あるいは商品供給に参加している下請業者については、サプライヤーが不正行為に関わり、あるいは本「基準」に違反する恐れがあると判定した場合は、必ずテナリスに報告しなければなりません。

報告サイト：www.compliance-line.com

不正行為を如実に報告することは、テナリスとサプライヤーの業務関係に影響しません。

XI. 法の遵守

サプライヤーは、その主管、役員、従業員、下請業者、業務代表または代理人が関連協議と商業関係の適用範囲において、適用する規定と慣例および地域と国の法規を理解して遵守することを確保する責任があります。

XII.貿易コンプライアンス

テナリスと取引関係のあるサプライヤーは、あらゆる関連する経済制裁令と輸出制御法規をずっと厳格に守らなければならないです。テナリスに適用する全ての経済制裁令と輸出制御規定を含んでいますが、これに限定されるものではありません。また、国連、アメリカおよびEUの関連規制を含んでいますが、これに限定されるものではありません。

テナリスと関連する契約書または取引を履行している過程に、直接あるいは間接的に国連、アメリカまたはEU制裁令禁止、制裁又は指定される関係者を納入することはできません。アメリカ財務省の海外資産管理局 (U.S. Treasury Office of Foreign Assets Control) が発布した「特殊指定国と個人の制裁リスト」 (List of Specially Designated Nationals and Blocked Persons) に記載されている関係者および、禁止、制裁又は指定される関係者に保有または制御されるエンティティを含んでいますが、これに限定されるものではありません。

このすべての法律法規に要求された政府職権部門の事前許可を受けない限り、協議規定またはテナリスとの取引を履行する間に、あるいはいかなる個人、実体あるいは目的を経由して受領した設備、製品、サービス、ソフトまたは技術について、サプライヤーは、直接あるいは間接的に販売、提供、輸出、再輸出、譲渡、貸与、移転、賃貸、輸送および他の方法で処置してはならないです。また、これらのいかなる司法適用範囲内で法律法規に禁止される目的に利用されてはならないです。

XIII. 衝突鉱物

サプライヤーは、テナリスがアメリカ証券取引委員会（以下「証券取引会」という）に報告を提出する上場会社として、「ウォールストリート改革と消費者保護法」（別名「ドッド-フランク法案」）第1502項の規定、および証券取引会に関連する規則制度（「衝突鉱物法」と通称する）に制限されることを理解しています。

衝突鉱物法によって、テナリスは毎年報告を提出し、ウェブサイトにもその製品に使用されているとしてコンゴ民主共和国やその近くの周辺国アンゴラ、ブルンジ、中央アフリカ、コンゴ共和国、ルワンダ、南スーダン、タンザニア、ウガンダとザンビア（「制限国」と通称する）出産の衝突鉱物（本文の次の定義を準じる）の情報を開示しなければなりません。また、ある場合（自主または下請業者を通じて）責任を果たして調査した上、衝突鉱物の出産源を明確にします。

「衝突鉱物」とは、アメリカ国務長官やその他の職権部門がコンゴ民主共和国またはその隣国で経済衝突を引き出すおそれのあるニオブタンタル鉄（またはタンタル）、すず石、金、タングステン錳鉄及び製錬のタンタル、錫、タングステン、およびその他の鉱物と精製品を指します。

サプライヤーは、テナリスに、納品される製品、部品や素材に上記の制限国産の衝突鉱物を含まないことを声明・保証しなければなりません。泰納瑞斯がいつでも、必要に応じてサプライヤーに書類、情報及びその他の証拠の提供を求めることで、テナリスが求める上記声明と保証の正確性を証明します。

サプライヤーがいかなる製品、部品や素材のテナリスに提供した上記の証明と保証が実行されないことを了解し、またはそのような認識の理由がある場合、リアルタイムに書面による形式でテナリスに報告しなければなりません。

XIV.健康と安全

テナリスのサプライヤーと下請業者は安全で健康な作業環境を提供し、作業による、引き起こすまたは期間に発生する、或いは雇い主の施設操作による事故と健康傷害を予防します。

また、テナリスの施設で現場サービスを提供するサプライヤー代表もテナリスの健康安全基準を遵守しなければなりません。

XV.労働権と人権

テナリスは、業務に適用する人権原則および「世界人権宣言」に基づいて、経営活動の展開に取り組んでいます。サプライヤーにも同じ基準の遵守を期待しています。

サプライヤーは、国際労働機関が「仕事の基本的な原則と権利宣言」(Declaration of Fundamental Principles and Rights at Work)で声明された諸原則を遵守しなければなりません。これは児童、強制労働、差別行為の禁止、労働自由結社と集団交渉権利の許可を含みます。

テナリスは、営業地コミュニティの文化と伝統を重視・尊重し、すべての経営活動に積極的に措置を取って、関連するコミュニティの健康、安全、環境、人権と経済福祉を考慮に入れ、サプライヤーがテナリスとのすべての取引にこのような価値観の遵守、尊重、育成を期待しています。

XVI.差別と騷擾

テナリスは、各従業員の成長・発展に役たち、テナリスを成功させる職場環境の構築と維持に務めなければなりません。この場合では、従業員に対するセクハラ、騷擾、脅威または差別は一切禁じられています。

サプライヤーは、性別、人種、宗教、年齢、障害、性的指向、国籍、政治傾向、あるいは社会は、民族の出身により、募集、給料、福利、昇進、規律処分、廃止雇用関係や退職などの面にはいずれかの職業差別があってはなりません。

テナリスのサプライヤーおよび下請業者は、それぞれの従業員を尊重しなければならないです。従業員に対する体、性、あるいは心理上の騷擾または侵犯を禁じ、あらゆる形式の不法騷擾を避けなければなりません。

XVII. 環境

テナリスは、会社の製造・販売拠点および大規模事務所において環境上の最大の影響をもたらす分野に努力を傾注しつつ、環境法上の実績を継続的に改善することを目指しています。テナリスは、環境に関して、環境法令の条文だけでなくその精神も遵守するよう努め、全サプライヤーにも同様のことを期待しています。環境基準がない場合は、サプライヤー自ら適切に高い基準を設定します。

サプライヤーは、環境に重大な影響を与える環境計画を制定・注目することを通じて、積極的にその経営活動とサプライチェーンの環境と社会に対するプラス影響を拡大し、マイナス影響を制限するよう努めます。

環境保護計画の範囲は、サプライヤーの業務性質および関係する業務リスクに適しなければなりません。

XVIII. サプライヤーの評価と監督

本「基準」を受け入れてずっと守ることは、テナリスのサプライヤー管理と評価プログラムの固有の一部となります。テナリスのリスクに基づく方法により、サプライヤーは具体的あるいは更なる信用証明を提供し、追加措置に従って本「基準」に関する要求のコンプライアンス状況を確認する資格があります。

本文書及び文書に含まれた情報またはデータはテナリス及びその子会社に独占されるので、秘密保持の対象となります。
本文書及び文書に含まれた情報または/及びデータは、テナリスの事前書面による許可がない限り、コピー、印刷、開示、伝播や他の方式で第三者に渡して
いかなる目的に利用されてはならないです。上記の違法行為について、法律で規定された最大限度内に責任を追及させていただきます。すべての権利を保留し
ます。